

# 小学6年～高校1年生の女の子とその保護者の方へ



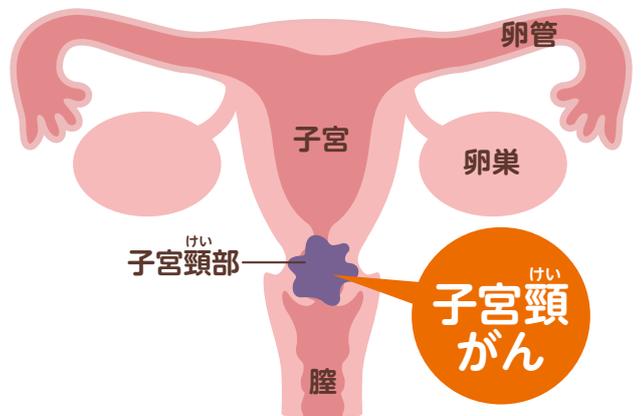
「子宮頸がん」を「HPVワクチン」で予防しましょう

## 子宮頸がんって？

女性の子宮の入り口付近にできる「がん」で、日本では20～40代の女性を中心に毎年約1.1万人が新たに子宮頸がんと診断され、年間約3,000人が亡くなっています。また、患者さんは20歳代から増え始め、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう人も少なくありません。

子宮頸がんの95%以上がヒトパピローマウイルス(HPV)の感染によるもので、HPVワクチンを接種することで子宮頸がんの50～90%を防ぐことができますと言われています。接種した人も20歳をすぎたら子宮頸がん検診を受けましょう。

## 子宮頸がんはどこにできるの？



約8割の女性が一生に一度はHPVに感染



年間約1.1万人が新たに診断



20～40代女性に多い



定期的な検診でがんになる手前で見つけることができます



## HPVワクチンについて



17歳までに接種することで88%の予防効果



世界120カ国で接種されている安全なワクチン

ワクチンを受けた後に、注射した部分の痛み、腫れ、赤みなどが起こることがあります。気になる症状があれば、接種した病院や周りの大人に相談しましょう。



# HPVワクチンの公費助成と接種方法

HPVワクチンは、国の定める定期予防接種で、**「小学校6年生～高校1年生の女の子」は無料で接種**できます。

定期予防接種の予診票の受け取り方は、自治体により異なります。  
接種する際には、まずはお住まいの市町村予防接種担当窓口などで確認し、指定の医療機関に予約を取って受診しましょう。



**高1生はお急ぎを!**  
全3回の接種には約6カ月間かかるため、9月までに1回目を接種しなければ、無料期間内に接種が完了しない可能性があります

## 接種の手順



**1 予防接種について**  
お住まいの市町村予防接種担当窓口などでHPVワクチンの予診票の受け取り方を確認。



**2 予約**  
医療機関に電話をし、ワクチン接種の申し込み。



**3**  
当日は医療機関から指示された書類を持参して受診。  
(予診票、母子健康手帳、健康保険証など)

## 接種間隔



※2価・4価ワクチンの場合は3回接種が必要

## 接種後に体調をくずしたら

もし接種後に気になる症状がある場合は、接種した病院や周りの大人に遠慮せずに相談しましょう。

### ●総合的な相談窓口

高知県健康政策部健康対策課 連絡先:088-823-9677

※相談の内容に関わらず、相談者のニーズに応じた適切な対応ができる機関につなげる窓口  
受付:月～金曜日 8:30～17:15(祝日、年末年始を除く)

### ●学校生活に関する相談窓口

高知県教育委員会事務局保健体育課 連絡先:088-821-4928

※通学、学習、進級、進学に関する相談などに対応する窓口  
受付:月～金曜日 8:30～17:15(祝日、年末年始を除く)



詳しくはお住まいの市町村予防接種担当窓口へお問い合わせください  
発行:高知県健康政策部健康対策課(予防接種担当) Tel.088-823-9677

高知県HPVワクチンの定期予防接種について

